

式 辞

春の気配を強く感じる頃、晴れて「卒業証書」を手にした皆さん、ご卒業おめでとうございます。

そして、本日は、ご多用の中、酒々井町 町長 小坂 泰久（こさか やすひさ）様、酒々井町議会副議長 齊藤 博（さいとう ひろし）様、酒々井町教育委員会 教育長 木村俊幸（きむら としゆき）様をはじめ、多くのご来賓の皆様にご臨席いただきました。本当にありがとうございます。

保護者の皆様、本日はおめでとうございます。小学校生活六年間に及ぶ年月に、語り尽くせぬ多くの喜びと、多くのご苦勞があったことと思います。日頃の皆様の大きな愛情が、ここに実を結び義務教育の第一段階を終了されたこと、心よりお祝い申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、皆さんが書いた卒業のしおり「未来の自分」を読ませていただきました。そこには、多くの職業が夢として書かれていました。

小津優直（おず まさなお）さん、

「料理関係の仕事について、自分の考えた料理で、みんなを笑顔にしたい」

（コメント）

武井虎之介（たけい とらのすけ）さん

「小学校の先生になって、たくさんの人の役に立てる大人になりたい」

（コメント）

山田朝陽（やまだ あさひ）さん

「ジャングルクルーズのガイドになって、みんなのことを笑わせたい。」

（コメント）

三浦千歩（みうら ちほ）さん

「自分の世界観を表現した何かをつくり出したい。」

（コメント）

卒業生の皆さん、皆さんは、将来、職業を選択する機会を得ます。その機会は、親が指示するわけではなく自分自身が判断して決めなければなりません。あと十数年たったら、誰もが職業を選択して社会人になるでしょう。その機会を今から楽しみにしてほしい、そう思います。

ただ、注意してほしいことがあります。それは、職業の選択だけに満足してほしくないということです。例えば、保育士になれても、意地悪な保育士では、社会の皆さんは喜びません。また、やっと看護師になれたとしても、面倒見の悪い看護師では困ります。どのような職種に就こうが、大切なことは、その人の生き方です。

では、理想とする生き方ってどのようなものでしょうか。私が考える理想の生き方は、「社会の変化を見極めて、まわりの人と一緒に、新しい価値を創り出し、社会に貢献する生き方」です。ですから、職業そのものは、その理想の生き方をかなえるための単なるステージに過ぎません。職業に就くことが最終目的ではないのです。大切なことは、その職業、そのステージでどれだけ社会のために貢献できるかです。

あなた方のこれからの十年間は、自分自身の生き方をゆっくり固めていく大切な時期です。自分自身が、目の前の事柄にどれだけ誠実に夢中で取り組めるか、見極めてください。勉強、スポーツ、読書、ボランティア、習い事、ことに及んで誠実に取り組み、夢中にならなければ、あなた自身の可能性は見えてきません。それを忘れないでほしい。いい加減な取り組み方では、新しい価値を創造する社会の一員にはなれません。自分がヒリヒリするほどの目標を掲げて取り組み、四苦八苦しながら難題を乗り越える、そんな自分の姿に満足してほしいのです。「あいつだったら、任せられる」と人に言わしめる若者になってください。新しい価値を創造する人は、常に誠実さを忘れず、夢中になって取り組む人です。もし、自分自身に甘さがあれば、

自ら千本ノックを課すのも上等です。どんなに素晴らしい学校に進学し、どんなに素晴らしい職業に就いても、誠実さを忘れず夢中になる資質や能力を育てなければ、社会に出て新しい価値を生み出す社会人にはなりません。

ぜひ、卒業の節目にこれからの自身の生き方について考えてみてください。これから成人するまでの十年が勝負です。

それでは、皆さんのこれからの人生に、笑顔がたくさんあふれること、心より祈念して、式辞とさせていただきます。

令和三年三月十七日

酒々井町立大室台小学校 玉井 清人

【要旨】

これから10年間、誠実に何かに夢中になって、生き方をしっかり固めてほしい。学校や職業につくことが最終目的ではない。社会人としての価値は、そのステージでいかに社会に貢献できるか決まる。近未来で頼れるリーダーになってほしい。

【背景となる理念】

めまぐるしく変わる社会・経済環境、さらにエネルギー資源環境の転換期にあたり、人間が人間らしく心豊かに生きていくには、正義を尊ぶ社会規範と他者に対する慈愛を大切にしたい。人間は、正義を実現するための法律を作り、慈愛を尊ぶ道徳を生活に生かしてきた。それは、今後も変わらないだろう。変えてはならない。

人間の暮らしが地球規模の自然破壊で変化を余儀なくされる近未来において、子ども達が自身の生き方を利己的な発想で考えてほしくはない。これからの社会は、個人が社会全体の中の私（わたし）的視点をもって、共生社会の理念を強く育てる必要があるかと思う。

